

4年 わたしの地図活用

伝統的な工業のさかんな地域 —こけし作り—

宮城県公立小学校 校長

1 はじめに

はじめて地図帳を活用する4年生が、興味をもって取り組み、伝統工芸に関心をもたせるよう計画を立ててみた。

2 「日本のすがた」から

『楽しく学ぶ小学生の地図帳 初訂版』(以下地図帳) p.63～64 を開いて調べてみる。

おもな伝統工芸品と生産都市	都道府県
アツシ産(平取町) 木形くま(白老町、平取町)	北海道 1
津軽めり(弘前)	青森 2
南部鉄器(盛岡、奥州) 岩谷堂たんす(盛岡、奥州)	岩手 3
こけし(大崎) 雄勝すずり(石巻)	宮城 4
川通しつゑ(東沢) かば織立(仙北) 曲げわっぱ(大崎)	秋田 5
置賜つむぎ(米沢) 山形鍔箱(山形) 将棋駒(天童)	山形 6
会津めり(会津若松) 天狗相馬やき(源七町)	福島 7
結城つむぎ(結城) 豆圃やき(笠置)	茨城 8
結城つむぎ(小山) 益子やき(益子町)	栃木 9
伊勢駒がすり(伊勢駒) 烏生籠(烏生、茨白)	群馬 10
江戸未だん入形(さいたま) 小川和紙(小川町)	埼玉 11

『楽しく学ぶ小学生の地図帳 初訂版』 p.64

「おもな伝統工芸品と生産都市」の欄をみると宮城県には「こけし(大崎)」が載っている。他の都道府県でも作っている「こけし」が宮城県だけに載っているのはどうしてなのか、興味をもたせたい。

3 こけしマークはどこに?

地図帳p.41～42を開いて調べてみる。

「宮城県には3か所、こけしマークが付いている場所があるがどこだろう?」と地図帳から探させる。1つめは白石市近辺である。これは弥治郎系こけし(頭の部分が、ベレー帽風のろくろ模様があるのが特徴)。2つめは蔵王町近辺である。これは遠刈田系こけし(頭が大きく、胴が細い。赤い放射状の飾りやおかっぱ頭のものがあ)である。そして

3つめが、鳴子(大崎市)近辺の鳴子こけし(頭を回すと音が鳴る。胴が太く、安定している)である。地図帳には記載がないが、仙台市の作並にも作並系のこけし(細い胴の裾を絞ったものや、カニ菊と呼ばれる模様の特徴)がある。



『楽しく学ぶ小学生の地図帳 初訂版』 p.41～42

4 なぜ、こけしが多い?

宮城県をはじめ東北各地にこけし作りのさかんな地域がある。とくに宮城県は、こけし作りが有名である。それは、どうしてなのかを地図帳から考えてみる。

こけしマークがついているのは山際であることから、こけし作りに適した材料が手に入ることなどに結びつけたい。雪深い地方では、冬の仕事として昔から伝わってきたり、鳴子では漆器作りの合間に湯治にきた人に子どもへのみやげとして売ったものが広まってきたともいわれている。

5 おわりに

今回は、地図帳を導入部分で使用した場合を考え、計画してみた。この後は、こけし作りの工程や道具の種類を調べるなかで、こけしを作っている人たちの工夫や努力を学習課題として取り上げ、後継者の問題を含め伝統を守るための人々の思いを考えさせていくことになる。